

おれんじニュース

No252

2011年3月号



2月6日 残雪深き修験の山(英彦山 南岳、中岳)

★集会・委員会・行事のお知らせ★		★山行の一步は会合から★		
	3月	4月	時間	場所
定期総会		2日(土)	10:00~15:00	西諫早公民館
運営委員会	8日(火)	12日(火)	19:30~22:00	
ひまわり集会	4日(金)	8日(金)	13:30~15:30	
全体集会	22日(火)	26日(火)	19:00~22:00	



1/23 虚空山の頂上(はみ出しそう)



虚空山の麓は嬉野茶の名所



深堀は隠れクリシタンの里



1/30 深堀 城山



2/6 英彦山(今年は雪が深い)



英彦山は修験の山

英彦山土産
「英彦山がらがら」

3月

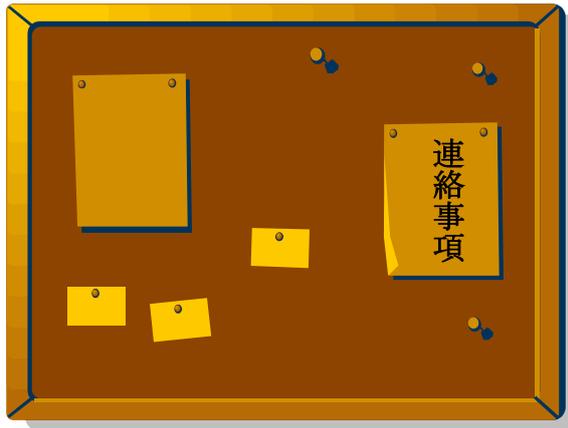


山行計画

部	技術研修部	技術研修部	山行部
月・日	3月2日(水)	3月26日(土)	3月27日(日)
山名(行事)	岩宇土山(1347m)	セルフレスキュー	尺岳(608m)
地図	椎原	御館山又は井樋ノ尾岳	北九州
集合時間	JR 諫早駅 6:00 JR 西諫早駅 6:10	JR 西諫早駅 9:30	JR 諫早駅 7:00 JR 西諫早駅 7:10
難易度	やや健脚	基本	ファミリーハイクの山
帰着時間	19:30	15:00	18:30
歩行時間	6時間位		4時間
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	日帰り		日帰り
温泉	無しかも		有
参加費	5000円		5000円
申込期限	定員になり次第	当日 JR 西諫早駅に集合	定員になり次第
集約	佐原		田中
備考	フクジュソウを眺めに		桜の開花に合わせて
感想文提出	3/8	4/5(適宜)	4/5

4月

部	ひまわり山行部	技術研修部	山行部
月・日	4月1日(金)	4月9日(土)	4月24日(日)
山名(行事)	とけん山	経読岳(992m)	釈迦ヶ岳(844m) 岳滅鬼山(1036m)
地図	雲仙	豊前	英彦山
集合時間	諫早駅前 8:50 発 (島鉄バス)	JR 諫早駅 7:00 JR 西諫早駅 7:10	JR 諫早駅 6:00 JR 西諫早駅 6:10
難易度	ゆっくり歩き	初心者	やや健脚
帰着時間	17:00	19:30	19:30
歩行時間	1時間	4.5時間位	5時間
交通手段	バス	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	小浜温泉	有	有
参加費	交通費のみ	5000円	5000円
申込期限		定員になり次第	定員になり次第
集約	江崎	佐原満子	田中
備考	お花見です	ツクシヤクナゲ早し	ヤクナゲ早し
感想文提出	4/10	4/15	4/30



1. 県連第 46 回定期総会

2月27日 13:00~17:00

長崎市民会館

当クラブより代議員 3 名出席

2. 2011 年度県連理事

当クラブ:坂口 荘一氏、松園 朱實さん

3. 第 2 回 山の写真展

2月27日(日)~3月6日(日) 10:00~19:00

石丸文行堂(6階)イベントホール

展示品搬入:2/26 搬出:3/6 17:00

当クラブからの出品:9人 13作

当クラブの会場当番:2/28(月) 午前/午後 各2名

4. 2011 諫早のんのこウォーク大会

3月6日(日) 9:30~17:00

諫早ゆうゆうランド干拓の里



写真のプリント



セルフレスキュー報告

1月29日(土)

井樋ノ尾岳 権現岩

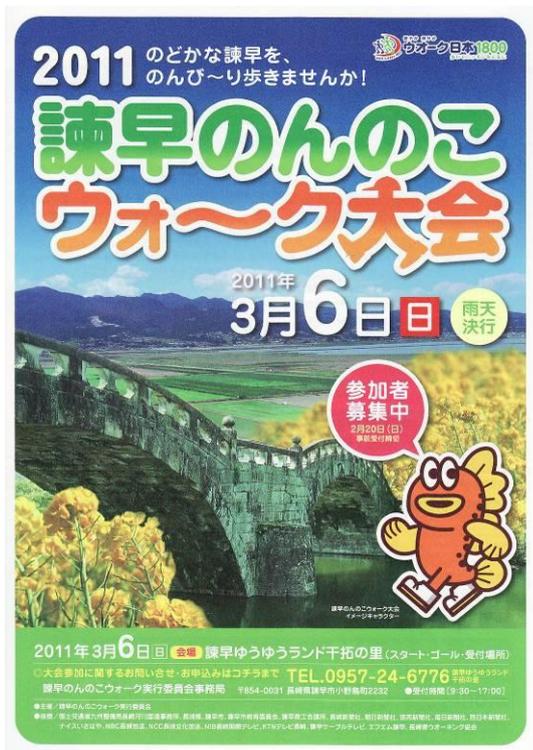
(参加者) 川原、松尾と、兵庫、坂口、山下、
田中し、金丸、鎗水

(内 容) 15m 程度の岩壁で訓練

- ① エイト環での懸垂下降
- ② エイト環とマッシャーによる懸垂下降
- ③ マッシャーやユマールでの上昇
- ④ ザックによるけが人の救助

(感 想)

- ① ロープのセットなど自主的に出来る
- ② 懸垂下降は問題なく出来る
- ③ 上昇は足立ちがコツ
- ④ 負傷者役が重過ぎた！(鎗水 記)



1月・2月の山行報告



1月23日(日)

虚空蔵山(609m)、高見岳(538m)、女岳(500m)

(参加者) 川原、岩田、福岡、國分、松園、山下、田中(静)、田中(紘)、金丸(直)、下釜

(行程) 西諫早 8:15～国道 34 号～広域基幹林道虚空蔵線(岩田氏、國分さん合流)9:00～高見岳登山口 9:20～高見岳頂上 10:00～女岳頂上 10:25～高見岳 11:00～林道登山口 11:20～虚空蔵山登山口へ 11:30～大岩の手前 12:10 昼食～犬の墓 12:40～虚空蔵山頂上 13:00～上木場新道(冒険コース)～木場登山口 14:00～嬉野お茶の木(原木)14:30～嬉野温泉元湯～西諫早着 17:00

(感想) どんよりとした空模様、山登りには良い天気だと思う私である。参加者 10 名だがジャンボタクシーに 8 名乗りゆったりすわれる感じ。西諫早駅を 8 時 15 分出発。予算の関係もあって高速道路をやめて 34 号線を走る。たまにはこんな道もいいもんだ。

のんびり行こう。東彼杵高速高架下で岩田さん、國分さんの 2 名が合流。高見岳登山口までは車 3 台で走る。登山口で一旦、車を下り岩田さん、國分さんはそれぞれの車を虚空蔵山の下り口まで移動しておく。寒いので我々は「サザエさん」の歌を手話をまじえて歌ったりして待つ。さあ！いよいよ高見岳へ登り始める。最初はゆるやかな登りだけど急に傾斜がきつくなり息苦しかったです。30 分足らずで頂上。山頂は展望が悪く、写真を撮って女岳へと歩を進める。こちらはかなり急な登り。下りは大丈夫だろうか？心配するまもなく頂上へ。

こちらあまり展望がきかない。三角点も見当たらない。写真を撮って下山。急な下りを用意しながら下りること 1 時間、最初の林道(登山口)に着いた。

林道の反対側にまた登山口があり、そちらは虚空蔵山への登山口だった。小さなアップダウンを繰り返していくと 40 分くらいで少し広い鞍部に着いた。ここで昼食。カップ麺を持ってきてたので作ってみたがお湯がぬるくて半煮えのラーメンになった。それでも福岡さんと山下さんが食べてくれた。ここから少し行くと犬の墓(イノシシ狩りでイノシシを追って岩から落ちて死んだ「フラン」という名の犬の墓)があった。ここからは又少し急な階段があり鎖につかまりながら頂上に着いた。そこには虚空蔵菩薩が祀られてあった。

山頂の展望は素晴らしく南には郡岳、経ヶ岳、北は八天岳、東には天山、西は今登って来た高見岳、女岳をみることが出来た。

帰りのコースは冒険コース。これがまた本当に冒険、岩場とロープの道であった。痩せ尾根にどきどきしながら下りてきた。川原さんがいたので本当に勇気が湧いて下りてこれた。上木場登山口まで来てホッとした。ここから嬉野茶の原木を見学し嬉野温泉で今日一日の汗を流し家路についた。皆さまお疲れ様でした。

(下釜ミツ子 記)



1月30日(日)

深堀城山

(参加者) 一斑 PL 坂口、SL 山下、下釜、田中ひ、松尾と、川内、林田
二班 PL 松園、SL 田中し、兵庫、佐藤、松尾こ、水江(外)
ゆっくり組 PL 中須賀、SL 川原、江崎、林、佐原、近藤(ガイド)

(行程) 西諫早 8:10～長崎大浦 8:45～登山口 9:00～城山頂上 10:30～善長谷教会 11:30
～昼食後下山 12:20～野母崎水仙の里公園 13:40～野母崎しおさいの湯～西諫
早着 16:30

(感想) 今朝も強い冬型の天気です。小雪が舞う厳しい寒さであったが、西諫早を8時10分
出発。車中は18名の参加者で、外の寒さも忘れるぐらい賑やかであったという間に長崎市内入り。
長崎の冬の風物詩のランタン祭りの鮮やかなボンボリを眺めながら深堀中学校の登山口へ
進む。

準備体操をすませ、三班に分かれ9時20分出発。しばらく登ったら左前方に三菱香焼のド
ックが小雪でかすむ景色も格別に美しかった。

今日は低山だったので楽な山行と思っていたら、途中急な登り坂があるとの事でロープを
伝っての長い坂を登り終えた時には汗でびっしょりだった。

山頂近くの神社に1年間の山の無事を
参拝しながら、城山の三角点に10時30
分に到着。

善長谷教会で早目の昼食で、ここも海
からの寒風をさける為に教会と倉庫との
軒下で二列に身を寄せての食事は箸を持
つ手もかじかんで冷たかったけど楽しか
ったです。



寒さの為、食事を終えるなり早々に下山開始。

途中、孟宗竹の竹林の素晴らしさに見とれなが
ら歩いているうちに菩提寺に到着。

深堀鍋島の墓地を見学しながら回っていたら、
境内に早春の訪れを待つかのように紅・白の梅の
花が開き始め、甘い香りが漂っていた。

一路、野母崎水仙の里公園に。海からの寒風のあまりの冷たさに水仙の方はそこそこに、
軍艦島の資料館にほとんどの皆さん避難……。館内で三菱石炭鉱業が閉山するまでの90
年間の歴史にふれる事が出来た。

しおさいの湯で冷えきった身体を温泉につかり生き返ったようだった。

帰諫する時には今朝からの寒さも青空になり、いつもながらの楽しい登山でした。

(松尾香一 記)

2月6日(日)

英彦山(1,200m)

(参加者) 兵庫、松尾と、中須賀、鎗水、坂口、松園、山下、田中(静)、山口い

(行程) 西諫早 7:10～別所バス停 10:00～奉幣殿 10:30～中岳 12:00/昼食 13:00～
北岳 13:50～豊前坊 15:00～英彦山キャンプ場 15:30～西諫早着 19:30

(感想) 立春を迎えた途端に寒波も遠のき、天気予報も全九州晴れマークに安心して参加。
今日の山行は英彦山へ。

出羽の羽黒山、大和の大峰山と並び日本三大修験場として栄えた霊山で日子山、彦山と称せられたが、江戸時代に靈元天皇より“英”の尊称を賜り現在の英彦山となったらしい。

高速道路を降り小石原近くになるとあちこちに雪が???

着いた別所バス停駐車場は一面の雪、ウーン甘かったかあ～、私の遊び心を超えていそう。

参道茶店の屋根も 50cm 位の雪が被っている、奉幣殿への石段も歩く所だけ雪をかき歩き易くしてあるが、周囲は雪、雪、雪。

奉幣殿にて安全登山をお願いして中岳へ出発。

登るにつれて雪も嵩を増してゆく。杉の生木も雪の重みで弓なりに曲り、その傷が生々しい。野鳥のあずまや四阿も雪の重みで潰れている。上宮近くの行者堂には10人程の老若男女が六根清浄を高らかに唱え、寒行の準備を整えている。

大杉に積もった雪はある時は白鷺に、ある時は真綿を被せた様にも見え、緑と白のコントラストが美しい。

中岳上宮に正午着。上宮は風雪の為か扉がわずかに開けてあるだけ。後の広場の休憩所で昼食を取る。数年前迄は横の小さい店であま酒、生姜湯を供してもらった。今回も上宮に着いたらアツアツのあま酒が……と期待して登ったのだが……残念、閉まっている。



南岳に三巨人現る

昼食後、健脚 3 人が南岳へ。帰りは北岳経由で降りることに。北岳から高住神社への下りは前の人の足跡を踏まないと深みに落ちる危険があるので、一步一步確かめて進む。シオジ、ブナの巨木の表示があるが、ゆっくり見ることも出来ない。

艱難辛苦の末やっと高住神社へ着く。

そこで、温かい紅茶の接待を受ける。牛馬の神に干支の兎も作って祭ってある。

御神水をおいしく頂き豊前坊バス停へ出るが、バスは雪の為上れず途中で待っているとので、手入れの行き届いた杉林の中をひたすら歩く。やっとバスに乗せてもらい、いつものしゃくなげの湯で汗を流す。

深い雪の中を事故もなく帰れた事に感謝しながら一路諫早へ。サービスエリアで皆で食べた牛蒡天うどんは格別の味でした。ありがとうございました。(山口いつ子 記)



1/30 オオワビデ



2/6 英彦山中岳上宮で
「左向け左！」

ほ～



「風雪の芸術」
2/6 英彦山中岳上宮



1/23 虚空蔵山



2/6 英彦山 高住神社



2/6 英彦山
のみ杉と飲みすぎ



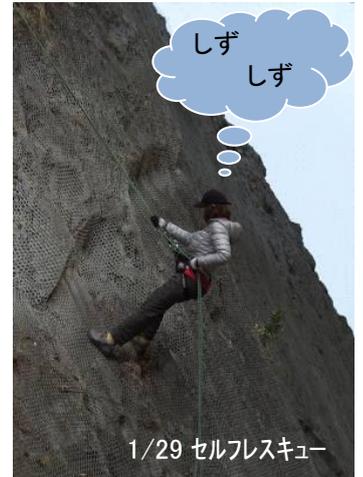
ちゃんと
きてるね

1/30 城山



う～ん

1/29 セルフレスキュー



しず
しず

1/29 セルフレスキュー

おれんじニュースNo252	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	鎗水律夫
発行年月日	2011.2.22
財政担当	
郵便振替講座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/



1/29 セルフレスキュー

ザワザワ